



12月3日～9日は障がい者週間です

障がい福祉課 ☎(235)4813

# お互いを思いやる心

## ご存知ですか？要援護者ベスト

昨年3月の東日本大震災発生時、地域の人の協力で一番に救出されたのは、自分の障がいを周りに知ってもらっていた方で、反対に、地域とのかかわりが少ない方の救出は遅れがちであったといえます。障がいにはさまざまな特性があり、見た目には分からない障がいがある方の場合、避難所などで必要な配慮を得にくいといったケースも想定されます。

もしもの時、力になるのは地域の絆。あらかじめ、自分の存在を地域の人に知ってもらうことが、命を守ることもつながります。地域の避難訓練などに積極的に参加し、地域の人との交流を深めておくことが大切です。

## 地域のひとのつながりが大切

## 障がいのある人の目線で考える

今号では、障がいのある方の視点から考える、災害時の障がい者支援についてお知らせします。自らも重度の障がい者でありながら、NPO法人神奈川県障害者自立生活支援センター事務局長を務める鈴木治郎氏（門沢橋在住）に、障がいのある方の目線から考える、災害時の障がい者支援についてお話を聞きました。

### あの日、私は…

3月11日の東日本大震災発生時、私は出張帰りで新宿駅にいました。電車はもちろん、駅のエレベーターも止まり、車椅子での移



鈴木治郎氏

### 街頭キャンペーンを実施します

12月2日(日)12時30分から、海老名駅東口自由通路で、障がい者福祉についての関心と理解を深めることを目的に、街頭キャンペーンを実施。障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

市では、周囲の人々に援護などが必要なことを知らせる要援護者ベストを無料で配布しています。このベストには、支援が必要であることを自ら示す告知シールがついていて、災害時の避難所などで、誰が見ても配慮できるような工夫がされています。



要援護者ベスト

告知シール



要援護者ベストを手にする、聴覚に障がいのある中沢さん「災害が起こっても孤立しないよう、日頃から一緒に活動している仲間とのつながりを大切にしたいです」

動は著しく制限されました。駅では、新宿公園に避難するよう指示がありました。公園では身動きがとれなくなってしまうと思ったり、私は、新宿駅で夜9時まで滞留。その後、都庁で夜を明かしました。都庁では、滞留者に毛布などが配布されましたが、車椅子に乗っている私に優先的に配布してくれるなど、周囲の方の配慮を感じることができました。

いつ、どこで、被災するかわからない、外出先で被災した経験から

勝手のわからない場所で被災することの怖さを身に染みて感じました。バリアフリー化が進み、障がい者の行動範囲も広がっていますが、行動範囲が広がるということは、いつどこで被災するかわからないということ。常に心構えをしておく、外出時に被災した場合の対策を考えておく必要があると思います。

配布対象は、障害者手帳や特定疾患医療受給者証などを持つ方です。要援護者ベストは、自分から声をあげるの抵抗があるという方にこそ、ぜひ持って欲しいものと考えています。詳細は、障がい福祉課までお問い合わせください。

私は、新潟中越地震が発生した後から、水とちよつとした食料を外出時には持ち合わせています。それが今回役に立ちました。現在配布されている要援護者ベストは、万が一の場合に備えて、常に持ち歩いてもよいでしょう。ベストには保管用の袋がついていますので、常備薬なども入れておく、援護する方にもわかりやすいのではないかと思います。

最後に、障がいを知ってもらい理解してもらうことは、自分の安心にもつながります。市内の障がい者の皆さんにも、受け身ではなく、地域の避難訓練などがある時は、どんどん参加して欲しいです。

## お互いを思いやる心

避難所で生活する場合、障がいのある方は、周囲の状況が把握できずにパニックになる、自分の意思が伝えられないなど、さまざまな状態になることが想定されます。簡単な言葉でゆっくり話しかけたり、避難誘導の補助をするだけでも十分支援になります。

非常時に大切なのは「お互いを思いやる心」。障がい者、健常者の区別なく、手助けを必要とする方を見かけた場合、お互い様の気持ちを持って接していきましょう。

### 災害時の備え

- ◇家族と相談して避難場所を決める
- ◇避難場所に安全に行けるルートを確認しておく
- ◇普段から近所の人との付き合いを大切にする
- ◇水や食料、薬を用意する
- ◇災害救助サポートカードに必要事項を書き、支援者に見せられるようにしておく
- ◇非常持ち出し品の中に要援護者ベストを入れておく

### こころのバリアフリーロゴマークについて

四葉のクローバーには、『愛』『信仰』『希望』『幸福』の4つの意味があります。通常は3枚のクローバーの葉ですが、踏まれたり、茎などが傷ついたところから4枚目の葉が出てくるそうです。傷ついても『幸福』の葉を生み出す、前向きなクローバーの形を基本に、地域の中で素敵なクローバーをたくさんみつけないかという願いを込め、『こころ』を意味するハートをつけたロゴマークとしました。



### こころのバリアフリー事業

市では、障がい者が地域住民に正しく理解され、社会の一員として生活するとともに、みんなが安心できるまちづくり、こころの健康づくりを目指した「こころのバリアフリー事業」を展開しています。24年度は、ドキュメンタリー映画を上映。入場は無料です。ぜひ、ご来場ください。(事前申込制。申し込みは障がい福祉課へ。)

- ◆12月2日(日)10時～12時(9時30分開場) 門沢橋小学校体育館
  - ◆1月26日(土)文化会館小ホール13時～15時30分(12時開場)
- ※文化会館では、障がい者支援施設での手作り品なども販売します。



10月27日、東柏ケ谷小学校会場での様子